

ふじみ野キャンパス「合気道同好会」 心身鍛錬により積極心を育む



入り身投げで簡単にコロソ！



(後列左から) 石澤大輔(共生社会学科4年)、寺島佑(理学療法学科4年)、河野有佑(人間福祉学科1年)、内田駿生(児童発達学科2年)
(前列左から) 飯村浩一(指導者)、宮本章歳(指導者)、川路昌治師範、吉村英典(共生社会学科4年)(敬称略)

を流していま
す。吉村さん
は「実績を積
んで、少して
も合気道を学
ぶための環境
を整えていき
たい」と抱負
を語ります。
川路師範が

【日時】毎週月曜日・水曜日、
18時から20時
【場所】W103

ウエアに着替えて稽古場へ。見学良し、突然参加良し。心優しきメンバーが、皆さんの参加を待っています！

ふじみ野キャンパスで「合気道同好会」が活躍中です。メンバーはまだ7人ですが、指導者はこの世界で名を馳せる合気道師範・川路昌治7段(合気道師範支部)。部長の吉村英典さん(共生社会学科4年)は現在初段で、多くの学生に合気道を知ってほしいと、文京学院内に合気道同好会を作るために奔走しました。

ループマネジャーのもとに何度も通った結果、「きちんとした練習場所も畳もない状況でも良いのなら」という条件で許可が下りました。顧問は加藤佐和子コミュニティセッション社会学科(3、4年は共生社会学科)学科長が引き受けてくださいました。

合気道は「天地の『気』に合する道」と言われ、「試合のない武道」のため、勝敗を目的とするものではないと、小場良一・学生支援センターの鍛錬のための武道であり、援センター長、加藤英一・総務部長、加藤英一も言われています。瞬時に判断が必要のため、頭脳はフル回転します。

取材当日は、四方投げ、入り身投げ、諸手取り呼吸法、座技呼吸法を学びました。川路師範が少し手首を捻るだけで、学生の身体が空中を飛びましたが、吉村さんいわく「痛いではなく、快感」。強い力が必要な武道ではないため、女性でも無理なく行えること、合気道の魅力を知るためから、女性部員も稽古に汗

取材当日は、四方投げ、入り身投げ、諸手取り呼吸法、座技呼吸法を学びました。川路師範が少し手首を捻るだけで、学生の身体が空中を飛びましたが、吉村さんいわく「痛いではなく、快感」。強い力が必要な武道ではないため、女性でも無理なく行えること、合気道の魅力を知るためから、女性部員も稽古に汗